

<貫き通した求め>

マルコ10：46～52

1、 を逃さず

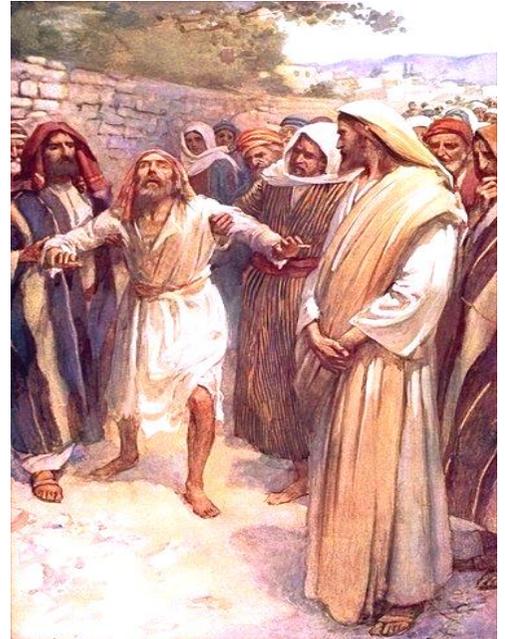
過ぎ越しの祭りが近づき、エルサレムに向かう人々がエリコの町を經由した。目の不自由なバルテマイはいつもと変わらず施しを受けるために座っていた。そこに群衆に囲まれたイエス様がやって来られた。

【メシヤについての旧約聖書の預言】

そのとき、盲人の目は開かれ、耳しいた者の耳はあけられる。
そのとき、足なえは鹿のよにとびはね、おしの舌は喜び歌う。
荒野に水がわき出し、荒地に川が流れるからだ。

イザヤ35：5、6

- ◆ なりふり構わずイエス様を叫び求めるバルテマイ。
この粘り強い求めはどこから来るのだろうか？



「チャンス」・・・状況が好転するために与えられる機会の事。

*ピンチはチャンスというのは、危機的状況が、絶好の好転を与える機会となること。

十字架のことばは滅びに至る人にとっては愚かであっても、救いを受ける私たちには神の力です。それは、こう書いてあるからです。「わたしは知恵ある者の知恵を滅ぼし、賢い者の賢さをむなしくする。」知者はどこにいるのですか。学者はどこにいるのですか。この世の議論家はどこにいるのですか。神は、この世の知恵を愚かなものにされたではありませんか。事実、この世が自分の知恵によって神を知ることがないのは、神の知恵によるのです。それゆえ、神はみこころによって、宣教のことばの愚かさを通して、信じる者を救おうと定められたのです。

Iコリント1：18～21

2、 でも求め続ける

バルテマイがイエス様を呼び求めた時、弟子達や群衆は彼をぞんざいに扱った。

- ①バルテマイの叫ぶ声で、イエス様の語ることが聞こえづらく妨げとなった。
- ②メシヤ発言で、過ぎ越しの祭りを前に混乱をきたす恐れがあった。
- ③取るに足りない人物であると、彼を見下げる思いがあった。

主を呼ぶ者の資格が求められるとするならば・・・それは何か？

